

ウェルフェア イズ ラヴ💖

2026 年 10 月 15 日 号

最近の福祉におけるキニナル話題（福祉の旬トピ🌟）

今週の『福祉新聞』に、「愛知・名古屋 2026 アジアパラ競技大会」の日本選手団の結団式の様子が掲載されていましたね。

「愛知・名古屋 2026 アジアパラ競技大会」は、10/18～10/24 の会期で全 19 競技が開催され、アジアの 45 の国・地域からおおよそ 4,000 人の選手団が参加する一ちなみに、日本代表選手団は 455 人。とのこと。

以下、公式サイト URL をリンクしておきますね。

[5th Asian Para Games 2026 - Aichi Nagoya 2026](#)

先日行われた「アジア大会」は、某民放放送局で連日放送（中継含む）されていたけれど、パラ競技大会はそういった予定はないようです。折角の日本開催なのだから、少しでも放送して欲しいと思うのですが…。仕方ありませんね。

新聞報道や公式サイト等を利用しながら、可能な範囲で関心を持ち、追っていこうと思います。

💬 スタッフのヒトリゴト 💬

将棋の西山 朋佳女流棋士が、規定を満たして女性初の『棋士』となる権利を獲得しましたね。一将棋ファンとしては、権利を行使してほしいけれど、ご本人は「周囲と話し合って決めたい。」と現時点では態度を保留されましたね。いずれの選択をされても、将棋界にとって歴史が動いた瞬間であることは間違いない。一ファンとして、ご本人の決断を見守りたいと思います。

[西山朋佳白玲、第3の道から夢への扉ひらく...女性初の「棋士」になる権利の行使は「冷静に話し合って決めたい」：読売新聞](#)

♡LOVE のラブラブな実践♡

先日、住まい支援（居住支援）についてのフォーラムをオンラインで受講しました。

主催団体の担当者曰く、「“居住支援”の方が解り易いかもしれないが、居住支援だと、家を用意することに重きが置かれてしまう。けれども、本当に大切なのはその後、その方がどう生活を営んでいくかだと思い、住まい支援とした。」と話されました。

その言葉通り、「住まい支援」というテーマでありながら、本質的には「孤独」についてのお話が主だったのではないかと受け取りました。

○人は、他者との関わりの中で自己認識を深められるし、「よりよくありたい」という気持ちが芽生える。

○自分を気に掛けてくれる存在の大切さ

○例えば「お金が足りない」という主訴で相談に来られた場合でも、その背景にはたくさんの生活課題が隠されていることが多いことを意識して対応する必要がある。

○住まいを求めている方を支えることも大切だが、それと同じように大家への支援も大切。大家も孤立させず、皆で支えること。支援を特定の人に丸投げしないことが大切。

○損得勘定ではなく、「社会の本来あるべき姿」を考えなければ、「地域共生社会」など実現しない。

といった言葉が、当事業所代表の心に、強く残りました。

県内の福祉イベント案内 他♪

11月23日、24日の2日間に渡り、ピープルファースト（自己決定をスローガンとする、知的障がいのある方たちの当事者運動）の全国大会が香川県で開催されるとのことです。

明日（10月16日）×切とはなっていますが、当日参加も可能なようですので、折角の香川県での開催。関心のある方は参加されてみてはいかがでしょうか。当事業所のブログ記事でも掲載しておりますので、宜しければご一読下さいませ。

[【イベント案内】第31回 ピープルファースト大会 in 香川 | 社会福祉士相談所 LOVE](#)

発行 社会福祉士相談所 LOVE

住所 〒761-8071 香川県高松市伏石町1562番地 伏石ハイツ第1 201号

電話 090-7780-7565

メール you-19830818@outlook.jp

ホームページ <https://lovesocialworker.com/>

転載や拡散、配布大歓迎！！

来週号も乞うご期待♡